

## 00 Background

商空間におけるパブリックトイレの現状

- 利用のしやすさ  
購買行動を伴わずとも誰もが利用できる公共性の高い空間。
- 利用者が不特定多数  
利用者には高齢者・乳幼児連れ・外国人などが含まれ、ニーズが複雑化している。
- 利用者に配慮した整備・基準が進展  
利用実態を受け、バリアフリー新法や各自治体のまちづくり条例をはじめとする制度整備が進められ、ユニバーサルデザインや多目的利用を前提としたトイレ計画が一般化してきた。

LDXL ビジネス情報, 「K タワー 横浜」, 2023 年7月竣工

## 01 Research

アンケート調査

2024 年 12 月に 38 名を対象としたアンケート調査を行い、商空間のトイレの使用状況について把握した。

トイレ利用目的で来店した際、店舗に立ち寄ったことがあるか

75.5 24.4

買い物へ出かける場所を選択する際、トイレの印象を考慮するか

75.5 24.4

トイレの価値を高める ⇒ 来店促進につながる

## 02 Site

愛知県名古屋市長 円頓寺商店街

円頓寺商店街は、古き良き名古屋の風情を色濃く残すアーケード商店街である。「四ッ道」にも隣接し、下町的な雰囲気と文化的な空気感が味わえる。江戸時代、名古屋城築城の際、運送の要として通られた堀川を利用する人々がこの地で通ずようになった。2015 年にはアーケードを改修し、モダンな家に生まれ変わった。明治から続く老舗店も点在する中、個性豊かな新しい店舗も加わり、現在約 30 店舗が軒を連ねる。

愛知県  
愛知県名古屋市長 円頓寺商店街

## 03 Problem 課題

名古屋エリア周辺トイレマップ



表広〜パブリックトイレ 長崎〜内環状エリア

空き地・駐車場分布



表一宮地 貫一駐車場

### ・パブリックトイレの不在

商店街周辺にはパブリックトイレが存在しない。子連れ家族や高齢者にとって、立ち寄りやすいが「居座りできない場所」となっている。

### ・駐車場供給の過多

老朽化した建物が取り壊され、空き地の多くは駐車場として点在している。駐車場の多さが道路との境界を乱し、景観を悪化させている。

## 04 Concept コンセプト



滞在性

回遊性

商店街をひとつの大きな建築の箱として見立てる。  
そこに必要なトイレ+αとなる要素を埋め込んでいく。  
トイレが単なる設備ではなく、目的のある場所へ。

## 05 Layout plan 街区設定

### Site1

飲食店や昔ながらの衣料店家具店、などのサナなど地元の人と観光客の両方が利用する街区。



### Site2

オフィスや学校住宅などが並び、地元の利用多めの生活圏街区。



### Site3

名古屋駅方面から始まるアーケードの終点かつ四間道地区とな交わる街区。



### Site4

四間道に隣接する昔ながらの街並みが続き、隠れた的な飲食店が入り混じる街区。



## Site I トイレ × ハンドケア



### ■素材

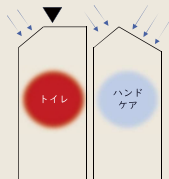


### ■+α『ハンドケア』



敷地付近に美容専門学校が複数あり、名古屋駅で働く社会人も多いため、話題となる『ハンドケア施設』を併設し、商店街への集客効果を図る。トイレ後の手洗いをより上質な時間にする。

### ■設計プロセス



箱状の建物が並ぶ商店街であるが、頂点を切り、窓を配置することで商店街との繋がりを強め、建物内の様子が見えやすいデザインを取り入れた。

### ■シナリオ



学校終了

トイレ+ハンドケアでリラックス

居酒屋で友人と飲み会

サウナで整う

### ■トイレの機能

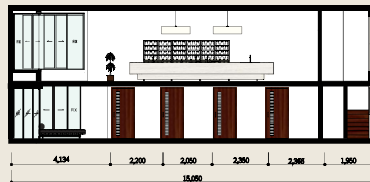


縦一列に個室を並べ、全てジェンダーレス多目的トイレとする。各個室内に商店街にあるアトリエの絵を飾り、雰囲気を変えることで、お気に入りのトイレを見つけることが出来る。

### ■平面図 1:50



### ■断面図 1:50



## Site2 トイレ × 仮眠室



### ■+α『仮眠室』



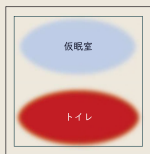
貸しオフィス施設「なごのキャンパス」が周辺にあるあ、仮眠&小休憩できる空間を選んだ。名古屋エリアと円頓寺を繋ぐ場所に。

### ■トイレの機能



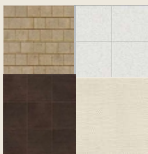
8つの個室の内、内側4つをジェンダーレス多目的トイレ、外側4つを左右男女別トイレとして配置する。均等に配置し、選べるトイレにデザインした。

### ■設計プロセス



トイレと仮眠室の2つの役割が並ぶ。周囲の建物と敷地を隔てる役割を持つ四角い箱は穴を開け、防犯面や植栽が外から見えるデザインとした。

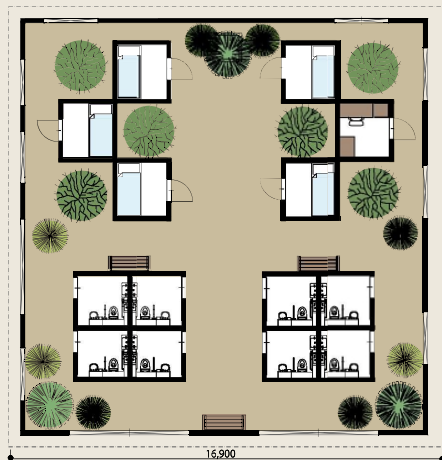
### ■素材



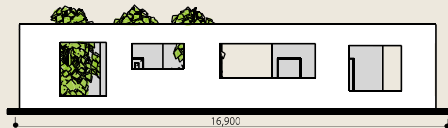
### ■シナリオ



### ■平面図 1:50



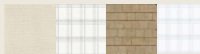
### ■断面図 1:50



## Site3 トイレ × 子育て



### ■素材

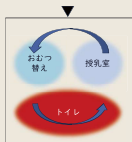


### ■+α『子育て』



敷地全体ベビーカーを押して通ることの出来るゆとりのあるデザインにした。また、育児が少しでも楽しい気分になるようおむつ替えルームと授乳室は一部チェック柄とし、明るい印象を心掛けた。

### ■設計プロセス



敷地奥にトイレ、手前にベビー要素を配置することで、男女問わず育児に参加しやすいデザインした。  
また、子供のおむつ替え⇒トイレ⇒授乳室という一般的な利用順に添い回遊動線を意識してデザインした。

### ■シナリオ



丸の内のマンションから出発

東横公園で遊ぶ

トイレ+ベビールーム

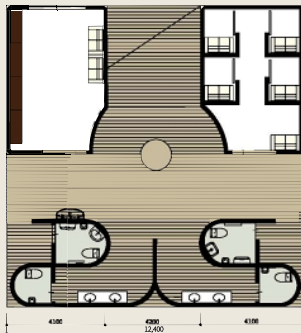
パン屋さんで買い物

### ■トイレの機能



大きくカーブした壁面で個室を覆うデザインにした。丸くすることで優しい印象を与え、子供が安心して利用できる空間になるようイメージした。

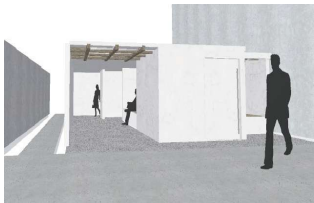
### ■平面図 1:50



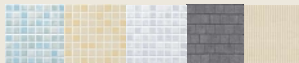
### ■断面図 1:50



## Site4 トイレ × 和空間



### ■素材



### ■+α『和空間』



敷地周辺に四間道の街並み保存地区がある為、和空間を意識したデザインを取り入れた。畳ベンチで一息付ける休憩空間を2か所配置した。

### ■設計プロセス



和空間でありながら、シンメトリーな配置を意識し、特に夜間女性が安心して利用できるよう道路からの視線を意識して配置した。

### ■シナリオ



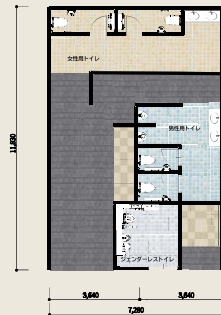
国際センター駅下車 四間道の街並み散策 トイレ+畳のベンチで一息 着場にある隠れ家駅長室へ入室

### ■トイレの機能



建物手前に多目的トイレ、中間に男性用トイレ、奥に女性トイレという配置にした。比較的時間が長居と予想できる多目的トイレ、男性トイレ付近に休憩スペースを配置し、効率のいい動線を意識した。

### ■配置図兼平面図 1:50



### ■断面図 1:50

